

東日本高速道路株式会社 北海道支社

支 社 長 堀 圭一

質問書に対する回答

(工事名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	<p>時間外による補正、交代制による補正について、土木工事積算基準 4-2, 4-9 に記載されている『構成比 (K)』とは</p> <p>① 国交省の令和 5 年 3 月から適用されている割増対象賃金比（職種で異なる）</p> <p>② 定められた固定係数（職種に関係なく同じ数値）</p> <p>③ その他</p> <p>のいずれを採用されているのでしょうか。</p> <p>②を採用されている場合はその数値、③の場合は補正方法をご教示お願い致します。</p>	土木工事積算基準に記載のとおりです。
2	<p>積算基準は令和 4 年版を使用しているでしょうか。</p> <p>あるいは令和 5 年度版を使用しているでしょうか。</p>	貴社のご判断に基づき費用を計上願います。
3	<p>積算基準が令和 5 年度版を使用している場合、トンネル掘削(爆破方式)における大型ブレーカ(ベースマシン)は排出ガス対策型第 3 次基準となっています。</p> <p>機械器具損料表で算出していると考えて宜しいでしょうか。</p>	貴社のご判断に基づき費用を計上願います。

番号	質問事項	回答
4	本工事における積算単価地区は、「富良野」と「旭川」どちらを採用しているでしょうか。	積算に関する質問についてはお答えできません。
5	現場から各処分場へは高速道路を使用しないと考えて宜しいでしょうか。	貴社の施工計画に基づきお考え下さい。
6	<p>トンネルのサイクルタイムについて、閲覧資料の「REPORT0Q.PDF」にあるサイクルタイムは令和4年度版土木工事積算基準に基づき算出されていますが、積算をする際は令和5年度版土木工事積算基準に基づきサイクルタイムを算出し直していると考えてよろしいでしょうか。</p> <p>また、令和5年度版土木工事積算基準に基づき算出したサイクルタイムを公表いただけないでしょうか。</p>	<p>算出基準については、積算に関する質問のためお答えできません。</p> <p>サイクルタイムは公表致しませんので、貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。</p> <p>なお、掘削サイクルタイムは参考図P20 抑制発破計画図(1)～P26 抑制発破計画図(7)に記載の穿孔数を用いて月当たりの進行(m/月)を算出しております。</p>
7	<p>特記29-2-4 基礎材の基礎材B1の区分内容に「再生クラッシャーランを用いて」と記載がありますが、特記22-2 再生資材の使用の再生資材使用には基礎材Bがありません。</p> <p>基礎材Bは再生クラッシャーランではなく切込碎石を使用するのでしょうか。</p>	<p>基礎材Bは再生クラッシャーランを使用します。</p> <p>特記仕様書については訂正します。</p>
8	<p>特記16-2に、工事用道路②(3箇所・存置)⑤(2箇所・撤去)⑥(5箇所・存置)について待避所の設置を行うと記載がありますが、番号184_項目番号_特-(14)待避所設置工は⑤村道ホロカ幾寅線の待避所と考えてよろしいでしょうか。その場合、特記29-10-7の(4)支払に撤去費用が含まれていません。撤去の有無についてご教示ください。</p>	<p>待避所設置工には、占冠PA工事用道路、村道ホロカ幾寅線、村道トマム1線118の待避所設置を含みます。</p> <p>なお、村道ホロカ幾寅線の待避所の撤去は、待避所設置工に含みます。</p> <p>特記仕様書については訂正します。</p>

番号	質問事項	回 答
9	単価項目 184_待避所設置工に含まれるものとして「敷砂利」と記載がありますが、村道か幾寅線の敷砂利工は、番号 150_項目番号_18-(2)敷砂利工($t = 10\text{ cm}$)に含まれるのではないでしょうか。	敷砂利工($t=10\text{cm}$)に含みます。 特記仕様書、図面については訂正します。
10	特記 17-1 盛土工 A は購入材の碎石又は砂利になっていますが、A1、A2、A3～A5 での換算率 L 及び C の値を御教示願います。	積算に関する質問についてはお答えできません。
11	特記 29-7-4 確認で伺います。ずり処理工 C3、C4において一時的に一線沢仮置場まで運搬仮置きし時期をみて下トマム盛土場とトマム IC 盛土場に同じ数量の運搬する考え方の理解で良いのでしょうか御教示願います。	ご質問のとおりです。
12	特記-11 週休 2 日推進にともないトンネ工種の 1 方、2 方の賃金補正で K 値(構成比)0.88 になっていますが、公共工事労務単価表の職種に応じた割増賃金対象比になるのでしょうか御教示願います。	貴社のご判断に基づき費用を計上願います。 なお、当社の K 値(構成比)については、土木工事積算基準に記載のとおりです。
13	特記-30 割掛対象のプラント冬期養生費及び汚濁水処理設備冬期養生費で期間が 17.5 ヶ月になっていますが、年間を通しての期間か又は冬期以外は撤去があるのでしょうか。 あるとすればその回数を御教示願います。	冬期養生費は冬期期間の月数となります。
14	特記 10-2 トンネル関連作業は冬期間もおこないますが、覆工や他のコンクリートで温水使用になると思います。温水費にかかる金額は設計変更の対象になるのでしょうかまたは関連項目に入れるでしょうか、入れる場合余盛を含めた数量を御教示願います。	特記仕様書 10-2 冬期休止期間における作業に記載のとおり温水費は関連項目の単価に含みます。 余盛数量は貴社のご判断に基づき費用を計上願います。
15	入札公告(説明書)13 材料価格資料の閲覧において、切込碎石 40~0mm、80~0mm の単価で 3 種類の単価ありますが、工種による区分でしょうか又は※1 の非凍上性単価で良いのでしょうか御教示願います。	設計図書に記載の材料を考えております。

番号	質問事項	回答
1 6	<p>特記 29-10-6 占冠 PA 工事用道路の仮桟橋設置における基礎工の支持杭打設時において河川部の土質柱状図(設計図にも)が見当たりません。</p> <p>施工機種選定等のためデータを提示願います。</p>	<p>設計図 工事用道路 33/47 (仮桟橋 一般図【本流鶴川第二橋】) に記載の N 値を基に選定願います。</p>
1 7	<p>ずり処理工 A 1 およびずり処理工 A 2 において「本線盛土場までの運搬」と記載されておりますが「本線盛土場」とはどこでしょうか。</p>	<p>設計図書を確認願います。</p>
1 8	<p>特記仕様書 22-3 「建設副産物の活用等」(1) 表において、濁水処理施設で発生した建設汚泥の活用方法等は「本線盛土場」と記載されておりますが、「本線盛土場」とはどこでしょうか。</p>	<p>設計図書を確認願います。</p>
1 9	<p>支保パターン図(5)の吹付け・ロックボルト材料表に記載があるフォアポーリングですが、規格欄に『耐力 170kN 以上』と記載されているので、ロックボルトと同規格の物で計上されているという事の理解でよろしいのでしょうか。</p> <p>数量算出要領では、異形棒鋼での計上が基本の様に思えます、材料は『ロックボルト』、『異形棒鋼』どちらが正しいのでしょうか。</p>	<p>フォアポーリングについてはご質問のとおりです。</p> <p>材料については、土木工事共通仕様書 12-6 ロックボルト工に基づき計上願います。</p>
2 0	<p>本工事のトンネルサイクル算出について、設計で考慮されている『軽微な吹付等の施工に要する時間を控除する場合』の時間は考慮されているのでしょうか。</p> <p>また市販されている基準書等で上記の算出根拠は何処から引用されているのでしょうか引用先も併せてご教示願います。</p>	<p>貴社の施工計画に基づきお考え下さい。</p>

番号	質問事項	回 答
2 1	<p>本工事のトンネルサイクル算出について、鏡吹付けのはね返り係数は下記の内どの値を考慮されているのでしょうか。</p> <p>①1.24 ②1.25 ③1.21 ④1.0 ⑤その他 ※その他の場合は数値をご教示願います。</p>	貴社のご判断に基づき費用を計上願います。
2 2	<p>本工事のトンネルサイクル算出について、設計で考慮されている本坑掘削サイクルタイムより令和5年度積算基準の改定内容を考慮すると、全体時間より支保有りの場合約20分、支保無しの場合約10分短くなるだけだと思われますが、『C I -a-i (H)-B』を除いて大きく1ヶ月当りの進行長を設計時より変更されておりますが、図面にご提示頂いている月当り進行長に間違いはないでしょうか。間違いが無い場合、令和5年の基準改定以外に何を変更されたのか併せてご教示願います。</p>	月当たり進行長に一部間違이がありましたので、訂正します。
2 3	<p>鉄筋 A1について、エポキシ樹脂塗装鉄筋には、加工工場と塗装工場が違うため塗装工場から現場までの輸送費を別途計上する必要があると思われますが、考慮頂いていますでしょうか。</p> <p>考慮頂いている場合運搬距離または工場位置情報を併せて、ご教示願います。</p>	貴社のご判断に基づき費用を計上願います。
2 4	<p>吹付けコンクリート工について、本坑の吹付機械は令和5年度より、『エクタ型』となりましたが、避難連絡坑の吹付機械の変更はされておりません。</p> <p>そのため、別機種が現場に来る想定となっているのですが、工事用機械分解組立費(トンネル)には1台分しか計上がありません。</p> <p>どちらの機種で統一していると考えればよろしいのでしょうか。</p>	本坑と避難連絡坑の吹付機械は別機種を想定しています。

番号	質問事項	回 答
2 5	<p>中央排水工 B、横断排水工 B について、フィルター材の詳細規格は下記の内の材料を考慮頂いていますでしょうか。</p> <p>①C-40 ②RC-40 ③粒度調整碎石 ④単粒度碎石 ⑤その他 ※その他の場合は数値をご教示願います。</p>	土木工事共通仕様書 12-15 路盤排水工の規定に満足する材料を考えております。
2 6	中央排水工 B、横断排水工 B について、フィルター材は『購入材』、『現地発生材』のどちらにて考慮頂いていますでしょうか。	フィルター材は購入材で考えております。
2 7	切羽監視員の契約数量『1,191 人』には、トンネル補助工法時の切羽監視員も含まれているのでしょうか。	トンネル補助工法時も含みます。
2 8	<p>【特記仕様書 29-7-4 ずり処理工 A1、A2】</p> <p>本線盛土場までの運搬とありますが、敷き均し締固めは含まないのでしょうか。</p>	特記仕様書 29-7-4 (2) 「支払」に記載のとおり、敷均し及び敷固めは含みます。

番号	質問事項	回答
29	<p>【特記仕様書 29-7-4 ずり処理工 C1、C2、C3、C4】</p> <p>下トマム盛土場、トマム IC 盛土場のトンネルずりの敷き均し締固めは本工事には含まれないことでよろしいでしょうか。</p>	そのとおりです。
30	<p>【参考図 坑口処理工図 (1) (2)、割掛対象表参考内訳書 5/5 吹付コンクリート $t = 10 \text{ cm}$ 数量】</p> <p>吹付コンクリートの数量が参考図によれば、1774.3 m^2、割掛対象表では、986.8 m^2 です。どちらが正しいでしょうか。</p>	割掛対象表参考内訳書の 986.8 m^2 が正となります。
31	<p>特記仕様書 P50 29-7-4 ずり処理工において、各種ずり処理工についての記述がございますが、「ずり処理工 C2」のみが鏡吹付コンクリートについて「処分」という記載がございます。</p> <p>処分費を計上するのは「ずり処理工 C2」のみでしょうか、それとも他のずり処理工も処分費は計上されるのでしょうか</p>	<p>鏡吹付コンクリートの処分費はトンネル掘削に含まれております、ずり処理工 C2 には含みません。</p> <p>特記仕様書については訂正します。</p>
32	<p>金抜設計書番号 111 の数量は $103,923 \text{ L}$ とあります。</p> <p>特記仕様書 P49 において 1 本当りの設計注入量は 770 L なので $27 \text{ 本} \times 770 \text{ L} \times 5 = 103,950 \text{ L}$ になると考えます。</p> <p>いずれが正かご確認願います。</p>	<p>$27 \text{ 本} \times 770 \text{ L} \times 5 = 103,950 \text{ L}$ が正となります。</p> <p>金抜設計書については訂正します。</p>
33	<p>金抜設計書番号 112 の数量は $10,814 \text{ L}$ とあります。</p> <p>特記仕様書 P49 において 1 本当りの設計注入量は 585 L なので $27 \text{ 本} \times 585 \text{ L} \times 1 = 15,795 \text{ L}$ になると考えます。</p> <p>又、トンネル設計図 64/96 では 1 本当り 401 L との記載です。当該数量を正とすれば $27 \text{ 本} \times 401 \text{ L} \times 1 = 10,827 \text{ L}$ となります。</p> <p>いずれが正かご確認願います</p>	<p>$27 \text{ 本} \times 401 \text{ L} \times 1 = 10,827 \text{ L}$ が正となります。</p> <p>金抜設計書、特記仕様書については訂正します。</p>

番号	質問事項	回答
3 4	本工事の土配計画図を公開していただくことは可能でしょうか。	貴社の施工計画に基づきお考え下さい。
3 5	<p>盛土工 A4 材料規定（2）の内容が同項（1）の盛土工 A3、A5 と同じ内容です。</p> <p>分けて規定した趣旨を、ご教示ください。</p>	使用場所が異なるため単価項目を分類していますが、材料規定は A3～A5 で同じ内容となります。
3 6	<p>盛土工 A5 の材料規定は、凍上の試験対象としていますが、特記 29 工事細部に関する事項 29-2-2 盛土工（1）種別の区分内容では、凍上抑制層の記述がありません。</p> <p>また、設計図面 工事用道路 32/47 の横断図にも詳細な記述がありません。 材料はどのような規格の物を使用するのか、ご教示ください。</p>	盛土工 A5 は凍上抑制層を使用しません。 特記仕様書については訂正します。
3 7	用排水管 P(Po-B)・φ 0.40 が本線部数量 416m 計上されていますが、①設計図 用排水工 1/10 の数量表には約 100m 分の内訳計上。②設計計算書下トマム道路詳細数量計算書では 139m 分と設計数量の内訳が確認できません。 掘削に土砂、軟岩部があるため記載以外の箇所を、ご教示ください。	用排水管の数量については平面図に記載しており、詳細図は標準図集以外のものについて記載しております。 土砂・軟岩部については横断図を確認願います。
3 8	<p>避難連絡坑部 機械掘削割岩工法のせん孔について、参考図ではホイールジャンボ 2 ブーム油圧 150kg にて施工することになっていますが、割掛の共通仮設費に分解組立費の計上がありません。</p> <p>割岩工法のせん孔は、ホイールジャンボ 2 ブーム油圧 150kg、油圧クローラードリル 150kg 級（1 ブーム）どちらで施工するとお考えでしょうか。</p>	割岩工法のせん孔はホイールジャンボ 2 ブーム油圧 150 kg での施工となります。

番号	質問事項	回答
3 9	<p>割掛対象表参考内訳書 工事用機械分解組立費（トンネル）において、避難連絡坑で使用する「2ブームホイールジャンボ」も対象となりますが、契約変更の対象と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>避難連絡坑においても 2 ブームホイールジャンボも対象になります。</p>
4 0	<p>特記仕様書 29-7-7 汚濁水処理工に「設置期間 30 ヶ月 堀削開始～覆工完了まで」と記載されています。 参考図 1/26 の工事工程表では覆工完了まで期間は 30.2 ヶ月となります。 単価表の汚濁水処理工（供用）は 870 日（29 ヶ月）となっています。 どれが正しいのか内容の整合をご確認願います。</p>	<p>汚濁水処理工の供用日数は堀削開始から堀削完了までの期間となり、汚濁水処理工（供用）は 870 日（29 ヶ月）が正となります。 特記仕様書については訂正します。</p>
4 1	<p>20230921 回答書 4 「占冠地区盛土場は本線盛土場とは異なる盛土場」とあります、本線盛土場の詳細や土量配分計画表 等をご提示願います。</p>	<p>貴社の施工計画に基づきお考え下さい。</p>
4 2	<p>過去工事（道東自動車道 清水工事）の質問事項「設計で使用する土木工事積算基準は令和3年度を使用でしょうか」に対する回答で「土木工事積算基準（令和3年度）を参照ください」とありました。 本工事の設計に使用する土木工事積算基準は令和5年度を使用するのでしょうか。</p>	<p>貴社のご判断により費用を計上願います。</p>
4 3	<p>参考図 1/26 工事工程表内の堀削サイクルタイム表（本坑）に記載されている月当り進行長のうち、C I -a-i(H)-B : 91m/月 C II -a-i(H)-B : 74m/月 C II -b-i(H)-B : 70m/月 D I -a(H)-B : 66m/月の根拠をご提示願います。</p>	<p>貴社の施工計画に基づきお考え下さい。</p>
4 4	<p>トンネル工に使用するサイクルタイムについて、詳細設計では令和4年度が適用されていますが、参考図 1/26 工事工程表内の堀削サイクルタイム表（本坑）は、令和5年度を適用していると考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>貴社の施工計画に基づきお考え下さい。</p>

番号	質問事項	回 答
4 5	中層混合処理工 Aについて、特許使用料は考慮されていますでしょうか。	特許使用料を考慮しています。
4 6	<p>のり面保護網工について、設計図に示されている材料は、NEXCO 土木工事積算基準に適合するものが無いと思われますが、施工歩掛の公表はございますか。</p> <p>公表のない場合、歩掛の引用先をご教示願います。</p>	積算に関する質問についてはお答えできません。
4 7	<p>のり面保護網工の材料単価について、単価の引用先は以下のいずれでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①NEXCO 標準単価 ②建設物価 ③積算資料 ④建設物価と積算資料の平均 ⑤その他(引用先をご教示願います) 	積算に関する質問についてはお答えできません。
4 8	Dv-P(Cor)- ϕ Dについて、ます接続部は排水施工場所 1 箇所につき 1 箇所の接続部を計上されているのでしょうか、それとも 2 箇所として計上頂いているのでしょうか。	1 箇所につき 2 箇所計上しています。
4 9	<p>Dv-P(Cor)-ϕDについて、ます接続部のモルタル配合比は以下のいずれでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①1:1 ②1:2 ③1:3 	土木工事施工管理要領IV 用・排水構造物工に記載のとおりです。

番号	質問事項	回 答
5 0	<p>P(Po-B)-ϕ 0.40(Sd-B)について、数量明細表では延長が 415.5m となっていますが、用排水構造物の設計図 1/10 の数量表では合計が 138.8m となり一致しません。平面図に記載されている延長の合計は 415.5m が確認出来ます、この意味は詳細図がある 138.3m 分は図面記載の通りの数量で計上し、残りの 277.2m は標準タイプという理解なのでしょうか、その場合 277.2m に対し掘削深さ毎の延長をご教示願います。</p>	標準図集によるものは設計図に記載していません。
5 1	<p>P(Po-B)-ϕ 0.40(Sd-B)について、裏込め材は購入材と現地発生材のどちらを見込んでいられますか。また、購入材を見込んでいる場合は材料の詳細規格も併せてご教示願います。</p>	現地発生材を想定しております。
5 2	<p>集水ます TypeA について、数量明細表ではホロカトマム工事用道路に 29 箇所となっていますが、工事用道路の設計図には 28 箇所しか見当たりません。 残り 1 箇所は何処のますなのでしょうか、29 箇所の規格別の箇所数をご教示願います。</p>	28 箇所が正となります。
5 3	<p>集水ます TypeM について、Dc-S-0.80-0.80-2.20 は 8 箇所あると思われますが、その内訳箇所数(接続管タイプ A~D 每)をご教示願います。</p>	設計図(用・排水構造物工 4/10)のとおりです。
5 4	<p>油水分離ます工について、施工歩掛の公表はございますか。公表予定のない場合は歩掛の引用先をご教示願います。</p>	積算に関する質問についてはお答えできません。
5 5	<p>油水分離ます工について、材料表に記載されている躯体の材料費及び穿孔の削孔費の公表はございますか。 公表予定のない場合は単価の引用先をご教示願います。</p>	積算に関する質問についてはお答えできません。

番号	質問事項	回 答
5 6	油水分離ます工について、材料表に記載されている基礎材(栗石または碎石)の材料詳細規格をご教示願います。	RC-40 を想定しています。
5 7	集水ます改良工Bについて、コンクリート取壊し図は、円形での取り壊しとなっているためコア削孔を適用されているのでしょうか、また小割の構造物取壊しも計上されているのでしょうか。	貴社の施工計画に基づきお考え下さい。 小割の構造物取壊しについては、構造物取壊し工で計上しています。
5 8	集水ます改良工Bについて、取壊し後の殻処分や運搬費用は集水ます改良工Bで計上されていますでしょうか。 また、計上されている場合は鉄筋・無筋のどちらを見込んでおられますでしょうか。	処分や運搬については集水ます改良工Bに含みます。 集水ます改良工Bは無筋で計上しています。 特記仕様書については訂正します。
5 9	コルゲートパイプ工について、基礎材B1は碎石、基礎材B2は砂という理解でよろしいでしょうか。 その場合、碎石と砂の詳細規格をご教示願います。	特記仕様書 29-2-4 基礎材に記載のとおりです。
6 0	コルゲートパイプ工について、被覆土の材料は購入材と構造物掘削からの流用のどちらでしょうか。	現地発生材を想定しています。
6 1	コルゲートパイプ工について、ふとんかごの線径は3.2mmと4.0mmのどちらを見込んでおられますでしょうか。	特記仕様書 29-4-7 ふとんかご工に記載のとおりです。
6 2	中央排水工B、横断排水工Bについて、残土処理は現場処理の『はねつけ』と理解し見積りを行えばよろしいでしょうか、仮に流用等を考慮されている場合は、流用先をご教示願います。	貴社の施工計画に基づきお考え下さい。
6 3	中央排水工B、横断排水工BにおけるC土質の床掘り・埋戻しについて、一旦掘削・埋戻しされた物なので、D土質同様に土砂相当として考慮されているのでしょうか。	積算に関する質問についてはお答えできません。

番号	質問事項	回 答
6 4	中央排水工 B、横断排水工 B における床掘り・埋戻しについて、機械損料の豪雪補正の有無をご教示願います。	積算に関する質問についてはお答えできません。
6 5	延運転月数：29.0 ヶ月と記載がありますが、29.0 ヶ月は掘削の期間です。ダンプトラックの延運転月数（インバート掘削期間は含めない）をご教示ください。	29 ヶ月はインバート掘削期間を含めたダンプトラックの延運転月数となります。
6 6	「坑外仮置き場往まで復走行時間：12.1 分」と記載がありますが、坑口から参考図 9/26【仮設平面図（参考）】に記載のある⑧より仮置場までの時間を表しているのでしょうか。	坑内重心からずり仮置場までの往復時間となります。
6 7	上記の質問について、土木工事積算基準の運搬速度（250m/min）で距離を算出すると、片道 1,512.5m となり、参考図の⑧より仮置場までの距離と異なります。坑口から仮置場までの往復時間について、ご確認をお願いいたします。	坑内重心からずり仮置場までの往復時間となります。
6 8	坑外仮置き場まで往復走行時間を 12.1 分とすると、ダンプトラックの所要台数は最大 9 台となります。工事用機械運搬費（トンネル）には、ダンプトラックの運搬が 7 台しか計上されていません。 どちらかが正しいのでしょうか。	ダンプトラックの運搬は 7 台が正となります。
6 9	掘削開始～掘削完了までは 29.0 ヶ月と記載がありますが、参考図 1/26【工事工程表（参考図）】によると掘削期間は 27.4 ヶ月（31.4-4）となります。 掘削期間についてご確認をいただき、正しい月数をご教示ください。	29.0 ヶ月は本坑掘削を施工しながら避難連絡坑の掘削を考慮した掘削月数となり、27.4 ヶ月は本坑のみの掘削月数となります。

番号	質問事項	回 答
7 0	<p>掘削開始～覆工完了までは 30.2 ヶ月と記載がありますが、掘削完了から覆工完了まで 1.2 ヶ月（30.2-29）しかありません。</p> <p>土木設計数量算出要領には「トンネル掘削が完了してから、2 か月後に覆工コンクリートが完了する」と記載があります。</p> <p>掘削期間と覆工期間についてご確認いただき、正しい月数をご教示ください。</p>	<p>参考図 1/26 に記載のとおり、本坑は掘削完了から覆工コンクリート完了までが 2 ヶ月、避難連絡坑は掘削完了から覆工コンクリート完了までが 1.2 ヶ月となります。</p>
7 1	<p>道路掘削 土砂A、道路掘削 土砂（表土）A、道路掘削 軟岩A の盛土場として、「本線盛土箇所下部路床部・・・」と記載されていますが、「本線盛土箇所下部路床部」には「下部路床」や「路床築堤盛土」も含まれていると考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>そのとおりです。</p>
7 2	<p>盛土工 A 1 の区分内容に「本線盛土箇所上部路床への・・・」と記載されていますが、盛土工 A 1 には起・終点坑門工への盛土も含まれていますでしょうか。</p>	<p>盛土工 A 1 には含みません。</p>